

# 門司港レトロ地区で 国東市観光物産展を開催

10月13日(土)・14日(日)の2日間、北九州市の門司港レトロ観光物産館「港ハウス」前広場で、国東市観光協会(中田博之会長)主催の国東市観光物産展が開催されました。

今年で9回目を迎えた観光物産展は、市の観光紹介や特産品の販売など、福岡、北九州に向けた国東市の観光宣伝を目的に、毎年この時期に行われています。

会場では市の特産品・加工品の販売や、名物タコめし・だんご汁・焼きだち等のお食事コーナーも設置され、2日間、多くの来場者で賑わいました。



▲カボスのプレゼント(先着100名)には、長い行列ができあつという間に終了!



▲国東の特産品を求めて多くの来場者で賑わいました



▲お楽しみ抽選会で、見事1等のペア宿泊券を当てた門司区の猫田タカ子さん。(右から二人目)中田会長から宿泊券が手渡されました



▲餅まきは大勢の参加者で大賑わい

## 準備万端! 皆さん参加をお待ちしています! 仏の里くにさき・とみくじマラソン大会

「仏の里くにさき・とみくじマラソン大会」の実行委員会では、11月11日(日)の本番に向け、最終の準備に終わっています。

今年で18回目を迎える大会には、全国から2,845人のランナーが参加。大会も間近に迫り、運営委員の皆さんは、大会コースや駐車場の草刈り作業や毎週木曜日に開催される運営委員会で、大会当日の参加者への最終案内の送付の準備など、最後の準備に終わっています。

運営委員の国東町川原の河野禧子さんは、大会当日の会場を飾るマリーゴールドのお世話を第3回大会から行っています。



▲毎週木曜日に開催される運営委員会には、約20名の運営委員が集まり大会に向け準備を進めています



▲今年も、マリーゴールド800鉢がきれいに咲きました。水やりをする河野さん

今年も国東農工高校の生徒の皆さんが植えた約800鉢を、自宅近くの金丸昭二さんの畑を借りて、10月始めから管理をしています。大森昭彦さんから水道を借りて、毎日約2時間かけて水やりなどの世話をしており、きれいな花が咲いています。

河野さんは「毎年、参加者の皆さんが、大会終了後花を持って帰るのを楽しみにしていますが、私も毎年きれいな花を楽しみにしています。地区の皆さんの協力もあり、今年もきれいな花で飾れそうです。」と話しています。

堤康二郎大会実行委員長は、「多くの皆さんのご協力のおかげで、順調に準備が整ってきました。今年も、全国から約3千人のランナーが参加します。ご迷惑をおかけしますが、市民の皆さんのご声援をよろしくお願いします。」